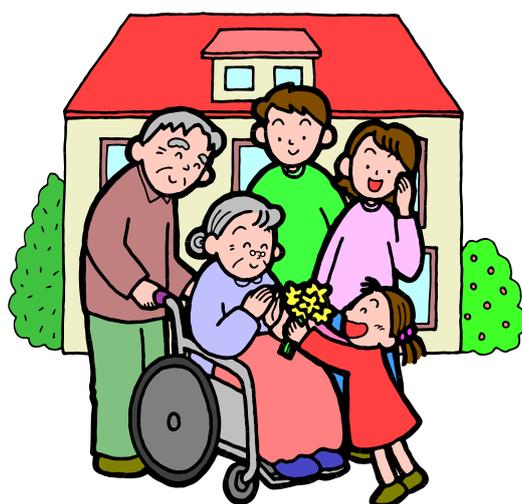


■ 基本理念



みんなで支え
みんなで築く
福祉のまち 美作

子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず誰もが、みんなで支え、みんなで福祉のまち美作を創るため、すべての目標が相互に関連しあい、総合的に課題解決がなされていくよう、地域福祉を推進していきます。



■活動目標

福祉座談会やアンケート、ヒアリングで出された約2,500項目に及ぶ内容を整理し、分析する中から10項目の活動目標を考えました。

《1》支えあえる地域づくり

少子高齢化が進み、地域の維持さえ困難なところが増えてきている中で、生活への不安を持たれている方がたくさんおられます。子供から高齢者、障がいのある人等、誰もが気軽に頼みごとができるよう、住民参加の福祉活動の意識を高め、地区社協や福祉委員活動を中心とした支えあえる地域づくりを展開します。

《2》人材育成

身近な地域で見守り活動や高齢者サロンなど、福祉委員の方やボランティアの方などにご協力いただきながら進めています。

一部の人の負担にならず、地域での福祉活動を継続していくため、研修や福祉教育など皆さんに福祉の必要性を知ってもらえるように啓発活動や人材育成を進めます。

《3》みんなが集まる場所づくり

高齢者サロンは、地区社協や民生委員、ボランティアを中心に市内約180箇所で開催されていますが、参加者が固定化していたり、男性参加者不足や役員への負担偏重などの問題を抱えつつも福祉情報の提供場所としてまた地区活動の拠点として地域と協働して進めていきます。

《4》子育て支援

近年、子育ての環境は、核家族化と相まって大きく様変わりしてきました。乳幼児虐待等象徴的な現象も、子育て中の若い世代の孤立感等不安が誘因で有るとも考えられています。この状況を少しでも改善し、安心して安全に子育てが出来る環境づくりのため、行政施策の充実に対して働きかけると同時に、地域と社協が協働してその態勢づくりを行ないます。

《5》障がい者・児の理解と支援

障がいをもつということは、健常者に比べて日常生活動作が出来にくくなるということです。

何らかの障がいを持つことは、決して不幸なことではないということを前提において、地域社会が様々な人達で構成されていること、そこからその当事者に対する社会的な支援体制を整備し、障がいを持つ人を理解することで、住みなれた地域で共に生き、共感できる体制づくりを進めます。

《6》当事者団体組織活動の強化

美作市には様々な当事者団体が活動しています。その様々な当事者団体について、市民の皆様の理解を深めていただく為、広報活動を行います。また、当事者団体の会員増加、組織活動の充実を目指す活動の支援を行います。

《7》高齢者の外出支援

高齢者世帯では、普段の生活に必要な食料品・日用品の買い物、近隣の病院への通院、市等が行う行事や研修への参加が容易にできないため、地域公共交通・民間交通情報を提供し、利用推進が図られるように支援を行います。

また、小地域に対応できる新たな交通手段を研究します。

《8》災害に対する意識づけ

平成 21 年に美作市を襲った風水害のように、いつどこでどのような災害が起こるかわかりません。社会福祉協議会には、地域と一体となって災害時要援護者(高齢者、障がい者・児等)の方々の支援方法について検討していくことが求められています。

また、災害時に立ち上げる災害ボランティアセンターのマニュアル化、さらに災害ボランティアの育成・啓発についても地域とともに取り組んでいきます。

《9》住民の自主活動に繋がる情報の伝達

私たちの生活では、高齢者、障がい者、子育てなど多様な情報が飛び交っています。この多種多様な情報を、必要なときに必要な情報が住民に知らせることができる体制づくりを進めます。

また、地域でも普段からサービス情報など生活に必要な知識を養うことで、近隣での話し合いの中での情報提供ができるよう啓発を行います。

《10》行政との連携と働きかけ

地域で福祉課題を解決していくためには、行政と社協や民間の団体などがそれぞれで個別に対応しても十分な取り組みはできません。課題を解決するには行政と社協や民間の団体が協働し連携することが重要です。みんなで地域福祉を推進していくという意味で地域における福祉課題や社会資源等を理解しあうとともに市民の皆さんの声を要望として行政に届けます。